

第6学年体育科学学習指導案

平成25年12月13日(金) 5校時
誑谷村立古堅小学校6年生
男子17名 女子17名 計34名
授業者 友寄 謙

1 研究との関連

(1) 研究主題

運動に親しみ、ねばり強く最後まで取り組む指導の工夫
～一人一人がめあてを持ち、主体的に取り組む体育学習をとおして～

(2) 主題設定理由

今現在の子どもの現状から教育現場に求められていることは、心の教育と自ら学び自ら考える力などの「生きる力」の育成、基礎的・基本的な内容の徹底を図ること等である。体育科においても、児童が運動・スポーツに親しむとともに、生涯にわたる体力作りやスポーツ実践の基盤を作るような指導の充実が求められている。

本校の場合、地域的に海、などの自然に恵まれており、休みの日には親子で海に泳ぎに行ったり、釣りに行ったり、友だち同士でサイクリングをするなど自然に触れる機会も多いようである。しかし、家でテレビを見たり、ゲームをしたりする時間も多くその結果、身体操作能力の低下や対人関係の処理能力、さらには自己の感情処理能力等も身に付いていない。また、運動技能面における個人差が拡大しつつある等の課題があげられる。

「生きる力」を「自ら学び、自ら考え、よりよく問題解決する能力」と捉えた時、「生きる力」を育成する学習過程は「めあて学習」と捉えるのが妥当だと考えられる。全ての児童が運動の楽しさに触れるとともに、自らの体力や技能の向上につなげられるよう、運動学習の進め方を主体的に考えたり、工夫したりする「運動の学び方」に焦点を当てた授業実践が期待される。また、「運動に親しむ資質や能力」とは、運動への関心や自ら考えたり工夫したりする力や運動の技能と捉えることができる。

そこで、本研究では「めあて学習」を取り入れることで児童一人一人が主体的に運動に関わるような取り組みにするとともに、学び方の学習を通して思考力や判断力をも育成したい。また、業間や休み時間等に縄跳び運動や遊びの推進を取り入れ一人一人の児童の体力や技能の向上に努めたい。

(3) 研究仮説

一人一人にめあてを持たせる場において、効果的な授業展開(場の工夫、児童相互の関わり)を図ることで、児童が主体的に取り組む体育学習ができるようになり運動の楽しさや喜びを味わわせることで、自ら運動する意欲を培い、運動に親しみ、ねばり強く最後まで取り組む児童を育成することができるであろう。

2 単元名 タグラグビー

3 単元の目標

ルールや攻め方・守り方を工夫してタグラグビーをする

4 単元について

(1) 教材観

タグラグビーはEボール運動アゴール型であり、コートの中で入り混じった両チームが、タグを取られないように巧みに相手をかかわして走り回ったり、パスをつないだりして、相手の陣地にトライして勝敗を競い合うことが楽しいゲームである。また、タグラグビーは難しいボール操作が不要で、ボールを抱えて自由に走りサッカーやバスケットボールが苦手な子でも楽しく行うことができる。そのため運動能力の差をあまり感じる事がなく、気軽に攻めたり、守ったりできる楽しい運動である。ラグビーと違ってタックルの代わりにタグを取ることで攻守が入れ替わり、接触プレーもないので、子どもたちも安心して行うことができる。

(2) 児童観

①単元・教材に対する児童観

タグラグビーにおいて子ども達は、ボールを持って自由に走ることができる特性を楽しめる。また、子ども達が思い描いた作戦を実現し易く、加えてその運動の特性の一つである攻撃方向へのパス制限により、ボール運動に積極的でない子にも自然とボールが回ってくるという利点を楽しめる。さらに、初めて学習する運動であることから既成概念にとらわれず、自分たちの活動に合ったオリジナルルールの作成にも取り組み易い。タグラグビーは運動量も豊富で、相手をかかわす巧みな動きは子ども達の発達段階に即した巧緻性の発達を促す。また、パスだけではなくボールを持ったものが相手に挑み得点を目指すことにより子ども達は積極性と自信をもってゲームに参加し、楽しむことができる運動である。

②児童の実態

男女とも仲が良く、休み時間になると一緒にサッカーをしたり、おしゃべりをしたり楽しく過ごしている。しかし、自己主張も強く自分の事は棚に上げて学級や学校のルールを守らない子や対人関係・自己感情の処理能力が身につけていない子もいるのが現状である。アンケートの結果から9割の児童が体育の学習を好きだと答えている。その理由として「動くのが好き」「走るのが好き」「みんなとやるのが楽しい」「努力したらできるようになる」等体育に関しては好感的である。また、好きな運動については、ドッチボール・野球・サッカー・ハンドボール・バスケット・バレー・ダンス・マット運動などである。逆に嫌いな運動には、マット運動・走ること・鉄棒・跳び箱等で、その理由としては苦手や嫌いということである。また、ボール運動についての問いでは9割以上の児童が好きと答えており、その理由として取ったり投げたり当てたりできて楽しい、ボールでいろんな遊びができる、強いボールを、取ったり出来るようになりたいなど積極的に取り組もうとする気持ちが伺える。

【学級の様子と体育について】

	質問内容	はい	どちらかと言 えばはい	どちらかと言 えばいいえ	いいえ
1	体育は好きですか	24	3	2	3
2	ボール運動は好きですか	20	1	10	1
3	仲間と助け合ったり教え合ったりするのは好きですか	31	1		
4	ねばり強く最後まで取り組むことができますか。	13	13	7	0

(3) 指導観（本時の指導の工夫を含めて記述する）

ラグビーは、同じ攻守入り乱れ型のバスケットボール型やサッカー型球技に比べ、ボールコントロールが簡単にでき、今もっている力で、誰でもゲームに参加することができる球技である。また、子ども達が練った作戦を実現し易く、運動の特性の一つである攻撃方向へのパス制限により学習開始のはじめの段階でも運動に積極的でない子にも自然にボールが回ってきて楽しく参加できるという利点がある。

そこで、自分のめあて、チームのめあてを持って学習に取り組むことでチームの仲間と協力してゲームに参加し、同時に個人の運動能力の向上につなげたい。

さらに、運動量も豊富で、ラグビー特有の「相手をかかわす巧みな動き」は、子ども達の発達段階に即した巧緻性の発達を促し、またパスではなくボールを持った者が敵陣に挑み得点を目指すことにより、子ども達に楽しさをいっそう引き立て、自主性と積極性をもって学習への取り組みができるようになる。

教師は、子ども達の主体性を大切にしながら、一人一人にめあてを持たせるとともにそのチームにあった作戦や練習方法を支援していくようにする必要がある。

5 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能
<ul style="list-style-type: none"> ○ラグビーを楽しむための活動に自ら進んで取り組もうとする。 ○ゲームをするための役割分担をして、責任を果たそうとする。 ○ルールやマナーを守り、お互いのセルフジャッジを大切にしながらゲームを楽しもうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分のチームに応じためあてを立て、めあて達成のための工夫をしている。 ○作戦を成功させるための練習を改良したり、計画を見直したりしている。 ○自分のチームの特徴と相手チームの特徴に応じた作戦を立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○正確なパスや素早いランなど、相手をかかわしてボールを運び確実にトライすることができる。 ○素早く動いて確実に相手のタグを取り、攻撃を止め、守ることができる。

6 単元の評価計画

	評価の目的	評価の内容		評価方法
診断的	児童の実態の把握	<ul style="list-style-type: none"> ○ボール運動への関心・意欲の調査 ○体育学習の仕方（思考・判断） ○ボール運動の技能の状況 		アンケート
形成評価	関心意欲態度の評価	関心・意欲	○自分から進んで楽しく運動しようとする	ワークシート 観察
		協力	○友達と協力しながら取り組むもうとする	
		マナー	○マナーを守って安全に楽しもうとする	
評価	思考判断の評価	めあて	○自分の力に合っためあてを立てて活動している	ワークシート

		練習の工夫	○攻め方や守り方を工夫して練習やゲームをしている	観察発表
		作戦戦術の理解	○自分のチームや相手チームの攻め方・守り方を理解し、ゲームに生かしている	
	技能の評価	攻め	○パスやランなどで攻めることができる	ワークシート 観察
		守り	○相手のタグを取り、攻撃の流れを止めることができる	
総括	まとめの評価	○運動の特性に触れる楽しさや意欲が高まったか ○教え合いや協力できたか		アンケート 感想文

7 単元の指導計画（8時間扱い）

時	1	2	3	4	5	6	7本時	8
	はじめ	なか1				なか2		
10	オリエンテーション	ねらい1（総当たり戦）				ねらい2（対抗戦）		
20		やさしいルールで、いろいろなチームに挑戦して楽しむ。				攻め方・守り方を工夫して、力の合ったチームに挑戦して楽しむ。 めあて① めあて②		
30								
40								

8 単元の学習活動と教師の支援

第1時	オリエンテーション（45分）	<p>①学習のねらいと道筋を理解し、学習の進め方について見通しを持つ。 タグラグビーのゲームの仕方について知る。 タグラグビーの学習の流れや学習方法について知る。</p> <p>②グルーピングと役割分担をする。 5～6人の男女混合グループとすることを知らせ、チーム編成をする。 キャプテン、記録係、用具係の役割を決める。</p> <p>③ルールや約束事を決める。 コートの大さや「ゲームの開始と得点のあと」「タグの使い方」などを読んで理解する。 「約束・マナー」を読み、必要な約束事やマナーを決める。</p> <p>④タグベルト・タグの付け方を知り、楕円形のラグビーボールに親しむ。</p> <p>⑤「話し合い・練習」を読み、それぞれの視点を理解する。</p>
-----	----------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

段階 (時間)	ねらいと活動	教師の支援
第2・3・4・5時 (45分×4)	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">ねらい1 やさしいルールで、いろいろなチームに挑戦して楽しむ。</p> <p>○キャプテンどうしの話し合いで、総当たり戦のための、毎時間の対戦相手を決める。 ○ゲームには、交代し合って、4人が出る。 ◎毎時間の流れ</p> <p style="text-align: center;">【1時間の進め方】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>[1] ボールを用いて、軽い準備運動をする。 ○パス練習を取り入れた準備運動をする。</p> <p>[2] 第1ゲームを行う。 ○ルールやメンバーに慣れながら、自分たちのチームや相手チームの特徴をつかんだり、自分たちに合ったルールかどうかを確認しながら行う。 ○審判は、ゲームをしていないチームで行う。 (セルフジャッジもできるようにする)</p> <p>[3] 話し合いをする。 ○チームごとに第1ゲームを振り返りルールやマナー、チームワークなどについて話し合い、第2ゲームのチームのめあてを決める。</p> <p>[4] 第2ゲームを行う。 ○話し合いを生かし、第1ゲームとは違った相手チームとゲームを行う。</p> <p>[5] 1時間のまとめをする。 ○次のことについてチームごとに話し合う。 ①ゲームは楽しかったか。 ②みんなで協力し合ってチームワークよくできたか。 ③一人一人もてる力を出すことができたか。 ④変更したいルールや追加したいルールはないか。 ⑤相手チームのいいプレーを見つけることができたか。</p> </div>	<p>☆ねらい①を確認させ、総当たり戦の対戦相手を決めさせる。</p> <p>☆ゲームの参加人数を知らせ、交代し合う計画を立てさせる。全員がゲームに出るように組ませる。 【関心・意欲・態度】 ☆けがのないように準備運動をさせる。</p> <p>☆各チームとも2試合行わせる。</p> <p>☆試合時間1ゲーム前半・後半の5分ずつ行う。間に1分間の休憩を置く。</p> <p>☆話し合いの際、そのチームに合ったアドバイスをいれるようにする。 【思考・判断】 ☆第2ゲームを見ながら、話し合いが活かされているか適宜支援を入れる。 【運動の技能】 ☆まとめをしっかりできるように支援する。</p>
第6・7・8時	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">ねらい2 攻め方・守り方を工夫して、力の合ったチームに挑戦して楽しむ。</p> <p>○力の合ったチームに挑戦できるようにキャプテンどうしの話し合いで、対抗戦形式でのゲームの組み合わせを決める。 ○自分のめあて、チームのめあてをもつ。 ◎ゲームには、交代し合って4人が出るようにする。 ・上手い子だけが出ないように自分たちで考える。</p>	<p>☆ねらい②を確認させ、取り組ませる。</p> <p>☆前時を振り返り各自のめあてを持たせる。 ☆みんながゲームに出られるように考えさせる。</p>

<p>な か ② (45分×2) +35分</p>	<p style="text-align: center;">【1時間の進め方】</p> <p>○準備運動をする。</p> <p>[1]各チームで練習をする。 ○各チームで攻め方や守り方を取り入れた練習をする。</p> <p>[2]ゲーム1を行う。 ○相手チームの動きを見ながら、自分たちにできる攻め方・守り方やボール扱いを生かしてゲームをする。</p> <p>○審判はゲームをしていないチームで行う。 (セルフジャッジもできるようにする)</p> <p>[3]ゲーム1を振り返って話し合い、練習をする。 ○相手チームの様子や、味方チームの攻め方・守り方の注意するところについて話し合う。 ○話し合いをもとに作戦を工夫して立て、その練習をしたり、ボール扱いの練習をしたりする。</p> <p>＜練習や作戦の工夫例＞</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①パスミスが多くて負けている。 →パスをできるだけ少なくして、主に走って攻める。 《ボールを持って走る練習》</p> <p>②守りが上手くいなくて得点をとられる。 →相手チームが横にパスをつないで攻めてくる。 《ボールを持っている人にいちばん近い人からタグを取りに行く。》 →足の速い人が攻めてくる。 《横一列に並んで前に出て守る。》</p> </div> <p>[4]ゲーム2を行う。 ○話し合いや練習で身に付けた攻め方・守り方やボール扱いを生かして、同じチームに挑戦する。</p> <p>[5]ゲーム2を振り返る。 ○成功した作戦や修正したい作戦などをチームで振り返り、次時の授業に生かせるように話し合う。</p> <p>[6]1時間のまとめをする。 ○次のことについてチームごとに話し合う。 ①みんなで協力し合ってチームワークよくできたか。 ②工夫した攻め方・守り方や練習したボール扱いを生かして、みんなで楽しくできたか。 ③一人一人もてる力を出すことができたか。 ④約束やマナーを守って安全に気持ちよく、ゲームをすることができたか。 ⑤自分たちのチームや相手チームの良いプレーをみつけることができたか。</p>	<p>☆力が合っているか確認させ、対抗戦の組み合わせをさせる。</p> <p>☆けががないように準備運動をさせる。</p> <p>☆各チーム攻め方・守り方の練習をさせる。必要に応じて助言をする。</p> <p>☆全員がゲームに出るようにチームで組ませる。</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>☆ゲーム1を見ながら必要に応じて助言をする。</p> <p>☆良かった点や悪かった点をしっかり振り返って、話し合わせるようにする。</p> <p>【思考・判断】</p> <p>☆そのチームに必要な攻め方・守り方が練習に取り入れられているか、見極めながら支援する。</p> <p>☆練習したことが生かされているか確かめる。必要に応じて助言する。</p> <p>【運動の技能】</p> <p>☆ゲーム②を振り返らせる。 次時につながるように助言する。</p> <p>☆一人一人がまとめをしっかりとできるように支援する。</p> <p>☆友達のいいところや素晴らしいところを積極的に見つけさせる。</p>
<p>まとめ (約10分)</p>	<p>◎タグラグビーの学習を振り返り、ワークシートへ書き込む。</p> <p>①タグラグビーのどんなところが楽しかったか。</p> <p>②チームのみんなや、チームどうしで協力し合って学習を進められたか。</p> <p>③一人一人がもてる力を十分に出すことができたか。</p> <p>④攻め方・守り方やボール扱いを工夫してゲームに生かし、楽しくできたか。</p> <p>⑤パスを出したり、ボールを取ったりすることが上手にできたか。</p>	

9 本時の学習活動と教師の支援（7／8）

(1) 本時のねらい

○攻め方・守り方を工夫して、力の合ったチームに挑戦して楽しむ。

(2) 授業仮説

・ゲーム1を振り返り、話し合いや練習をする場において、教師が各チームの特徴を捉えて、そのチームに合った攻め方や守り方をヒントカードとして提供することにより、自分たちの課題と解決の方法が分かり各チームとも攻め方・守り方を工夫したゲームが展開できるであろう。

(3) 本時の展開

<p>(5分) はじめ</p>	<p>○学習のねらいや道筋を理解し、学習の進め方に見通しを持つ。 ○学習のマナーや安全について確認する。 ○今日のめあてを確認する。</p>	<p>準備 もの</p>	<p>2コート 得点板2個 タグベルト 人数分 ラグビーボール 6個 ヒントカード 作戦版</p>
<p>学習のねらいと活動</p>		<p>教師の支援・評価</p>	
<p>なか か (35分)</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">ねらい2 攻め方・守り方を工夫して、力の合ったチームに挑戦して楽しむ。</p> <p>○準備運動をする。 ○各チームで練習をする。 ・各チームで攻め方や守り方を取り入れて練習をする。 ○ゲーム1を行う。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">自分たちができる攻め方・守り方でゲームを楽しむ。</p> <p>・相手チームの動きを見ながら、自分たちができる攻め方、守り方やボール扱いを生かしてゲームをする。 ○ゲーム1を振り返って話し合い、練習をする。 ・相手チームの様子や、味方チームの攻め方・守り方の注意するところについて話し合う。 ・話し合いをもとに作戦を工夫して立て、その練習をしたり、ボール扱いの練習をしたりする。 ○ゲーム2を行う。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">話し合いや練習で身に付けた攻め方・守り方やボール扱いを生かして、力の合ったチームに挑戦して楽しむ。</p> <p>・練習を生かせるように協力しながらゲームを楽しむ。 ・互いに声を掛け合いながら、攻め方や守り方をゲームで出せるようにする。 ○ゲーム2を振り返る。 ・成功した作戦や修正したい作戦などをチームで振り返り、次時の授業に生かせるように話し合う。</p>	<p>☆けがのないように声をかけながら準備運動をさせる。 ☆攻め方・守り方に工夫しながら練習に取り組ませる。 ☆交代でゲームに出るように組ませる。 ☆自分たちができる攻め方・守り方でゲームをさせる。 ☆必要に応じて助言をする。 ☆良かった点や悪かった点をしっかり振り返って、話し合わせるようにする。 【思考・判断】 ☆そのチームに必要な攻め方・守り方が練習に取り入れられているか、見極めながら支援する。 【運動の技能】 ☆ゲーム②を振り返らせる。 次時につながるように助言する。</p>	
<p>まとめ (5分)</p>	<p>○1時間のまとめをする。次のことについてチームごとに話し合う。 ・進んで取り組み、練習やゲームに楽しく参加することができたか。 ・チームで協力して、ゲームを楽しむことが出来たか。 ・攻め方・守り方やボール扱いを工夫してゲームに生かし、楽しくできたか。 ・一人一人がもてる力を出すことができたか。 ・ルールや約束ごと、マナーを守って安全に楽しくできたか。 ・自分たちのチームや相手チームの良いプレーを探すことができたか。</p>		

- (4) 評価 ◎攻め方・守り方を工夫して学習に取り組むことができたか。(観察・ワークシート)
◎ チームで協力して、ゲームを楽しむことができたか。(観察・ワークシート)